



広報リポーターの突撃取材!



健康を守る身近な方法を真剣に学ぶ参加者

食事と健康
学んで理解

大川目町まちづくり協議会は2月16日、地域課題懇談会を開催。久慈病院の村上和子栄養管理室長を招き、食生活や健康管理について学びました。終了後は地域医療の実情についても話し合い、奮闘する医療チームへの理解を深めました。(小倉利之リポーター)



スノーシューを履いて雪上を歩く参加者

真冬の白樺
歩いて歓声

2月9日、久慈まるごとウォーキング(市教委・市体協主催)に参加した15人が平庭高原でアニマルトレッキングに挑戦。初のスノーシュー(かんじき)歩行や、野生動物が生活した形跡を発見し、真冬の白樺林に歓声を響かせていました。(梅沢政隆リポーター)

自由に”円”描き 輝く目

スクールギャラリー作品制作

小学校を巡回して芸術作品を展示するスクールギャラリーツアー(久慈青年会議所主催)の記念作品制作が2月7日、久慈小学校で行われました。

「心をまるく、立身自立を養おう」と題した作品制作に5年生約130人が挑戦。児童は画用紙いっぱいに円を描き、中心部には「全力」や「元気」など自分の目標や好きな言葉を書き入れました。

色鮮やかな円の中心に「本気」と書いた栃木健斗くんは「好きな色で自由に描けて楽しかったです。今年は苦手な教科も本気で頑張ります」と目を輝かせていました。同校は昨年展示校。現在は大川目小学校に絵画や版画などが展示されています。



作業に集中! 心を落ち着かせて、色鮮やかな円を描く児童



1/大盛況! 長い列ができた毛ガニの格安販売
2/毛ガニの一本釣りで針先に集中する参加者
3/B級グルメ横丁は、久慈の美味盛りだくさんで子どもたちも大満足!
4/久慈の「旬」が並ぶ市日も、多くのお客さんが訪れました



毛ガニで街 大にぎわい

北三陸くじ冬の市

本年度4回目となる北三陸くじ冬の市・毛ガニまつり(同実行委員会主催)は2月13日、中心市街地で開かれました。

毛ガニの格安販売をはじめ、毛ガニの一本釣り、毛ガニ汁の格安販売など、イベント内容は盛りだくさん。特に活毛ガニは大人気で、千杯以上用意したにもかかわらず1時間ほどで完売。一本釣りも好評で、中には1時間で5杯以上釣り上げる参加者もいました。

歴通路広場で開かれたB級グルメ横丁には北上コロッケが特別出店。盛岡、八戸方面からツアー客も訪れるなど、市日とともに、街ながが大いににぎわいました。

2家族7人で来場した田中優子さん(大川目町)は「すごい行列でしたが、無事に毛ガニが買えました。子どもたちもカニが好きなので、楽しい晩飯になりそうです」と笑顔で浮かべていました。

本年度最後の冬の市は3月13日(日)10時から開催。皆さん、ぜひご来場ください。

幻想的な氷筍にご満悦

内間木洞氷筍観覧会

内間木洞氷筍観覧会は2月11日に開催。今年は寒さの影響で、氷筍は小さく、数も少なめ。それでも中には180センチを超える氷筍もあり、241人の来場者は幻想的な自然美に目を奪われていました。

小川麻美さん(十和田市)は「想像以上にきれい。案内の方も親切でした」と初見学にご満悦でした。



来場者を魅了した美しい氷筍



謝辞で、農業振興の決意を述べる大鹿謙正行さん

生産拡大に向けて団結

久慈地方農業振興大会

2月10日、久慈地方農業振興大会が市内催事場で開かれました。

大会では情勢報告や表彰、講演などを実施。生産拡大と、信頼される産地の確立に向けて、農業者450人が一致団結しました。

【久慈地方農業表彰・市内受賞者】
■明日を拓く担い手賞…大鹿謙正行さん(菌床シイタケ) ■意欲ある担い手賞…戸崎武幸さん(菌床シイタケ)

体が震える感動経験を

世界一周の体験披露

7年半をかけ自転車で世界一周した石田ゆうすけさん。22年前に久慈を訪れたことが縁となり2月5日、市内催事場でスライド&トークショーを開催。200人に宝のような感動体験を披露しました。

石田さんは「体が震えるほどの感動を経験できることが良い人生だと思います」と語っていました。



宝のような経験を惜しみなく披露した石田氏



久慈高出身の岩大生・佐々木琴世さんも発表

岩大連携の成果を発表

地域連携フォーラム

久慈市と岩手大学が連携して取り組んだ活動の成果などを発表する地域連携フォーラムは2月2日、市内催事場で開かれました。

約120人の来場者は、学生らの発案によって商品化された琥珀製品とアカマツ製玩具の説明や、久慈市の都市計画についての分析と提言などに聞き入っていました。

見事な芸能に観客沸く

市郷土芸能祭

市内各地区に伝わる郷土芸能を一度に楽しめる市郷土芸能祭は1月23日、アンバーホールで開催。10団体が見事な神楽などを披露し、950人の観客を沸かせました。

関念仏剣舞を披露した岩井大輝くん(山形中2年)は「拍手をもらえてうれしかったです」と笑顔で汗をぬぐっていました。



小・中学生も堂々と舞を披露した関念仏剣舞



くす玉を割り、笑顔で喜ぶ工藤さん夫妻

大喜びで”また来ます”

土風館200万人達成

2月11日、やませ土風館(中塚勝則館長)が入館者200万人を達成。十和田市から訪れた工藤嘉美さん、幸子さん夫妻に、特産品と花束が贈られました。

嘉美さんは「人生で初の経験で驚きました。土風館は4回目。ご飯もおいしいので、ぜひまた遊びに来ます」と大喜びしていました。